

平成 18 年度当初予算 施策別概要

531 地域振興プロジェクトの推進

(主担当部局 : 地域振興部)

53101	生活創造圏づくりの推進	(地域振興部)
53102	三重ハイテクプラネット 21 構想の推進	(地域振興部)
53103	地方拠点都市構想を生かした地域振興	(地域振興部)
53104	沿岸域の利用	(総合企画局)

< 施策の目的 >

(対象) 地域住民と行政が

(意図) 地域づくり活動(事業)を活発に行っている。

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
地域住民と行政による地域づくりの活動が行われていると感じている県民の割合 (%)	目標値	5 5	5 8	5 9	6 0
	実績値	5 3	5 2 . 2		

地域住民と行政による地域づくりの活動が行われていると感じている県民の割合(県民意識基礎調査)

< 平成 18 年度に残っている課題 >

生活創造圏づくり及び生活創造圏ビジョンを見直し、今後は地域が主体となった取組へと発展的に移行していくことが必要です。その中で、県は、地域が主体の地域づくりを補完、支援する役割を担っていく必要があります。

三重ハイテクプラネット 21 構想について、時代の変化に伴い、本構想を取り巻く社会情勢やニーズを踏まえた見直しが必要となっています。

地方拠点都市構想を活かした地域振興について、景気の回復傾向に伴う企業からの立地意向を捉え、時機を逸しない企業誘致が必要です。

沿岸域の利用については、木曾岬干拓地の当面の土地利用計画に沿った利用を進めつつ、干拓地の将来の活用策について多面的に検討する必要があります。

< 平成 18 年度の施策の取組方向 >

これまで広域的な地域づくりとして進めてきた生活創造圏づくり及び生活創造圏ビジョンを見直し、地域が主体となった地域づくりを補完、支援する役割に移行していきます。

見直しの実施にあたっては、経過的な措置を講じるなど、現実的な対応について配慮します。

三重ハイテクプラネット21構想については、関係市町や関係機関と連携して、企業誘致、研究開発機能などの集積をはかるとともに、バレー構想や特区計画などを踏まえ、時代に則したあり方を検討します。

地方拠点都市地域については、中勢北部サイエンスシティに、オフィス、研究所、企業等の誘致を促進します。また、上野新都市については、産業用地への企業誘致をさらに進め、完売を目指します。

沿岸域の利用については、木曾岬干拓地で建設発生土ストックヤードの供用及びわんぱく原っぱの盛土を進めつつ、干拓地へのアクセス道路の整備に向けて用地買収等を行います。また干拓地の将来の活用策について多面的に検討します。

<主な事業>

生活創造圏づくり推進事業費【基本事業名：53101 生活創造圏づくりの推進】

当初予算額： 193,546千円 183,374千円

事業概要：生活創造圏づくり及び生活創造圏ビジョンを見直し、地域が主体となった取組に円滑に移行していくために、必要な経過措置を講じます。

特定振興地域推進事業費【基本事業名：53102 三重ハイテクプラネット21構想の推進】

当初予算額： 1,640千円 719千円

事業概要：三重ハイテクプラネット21構想の時代に即したあり方を検討するとともに、企業誘致・研究開発機能の集積を図るため、関係機関との協議会の開催による連絡調整を行います。

中勢北部サイエンスシティ事業促進費【基本事業名：53103 地方拠点都市構想を生かした地域振興】

当初予算額： 600千円 601千円

事業概要：中勢北部サイエンスシティへの企業等の誘致を進めるため、「中勢北部サイエンスシティ企業誘致促進協議会」を通じて企業誘致活動を行います。

木曾岬干拓地整備事業費【基本事業名：53104 沿岸域の利用】

当初予算額： 991,226千円 938,020千円

事業概要：三重県土地開発公社から干拓地を再取得する他、わんぱく原っぱの盛土工事等干拓地整備を進めつつ、環境影響評価事後調査を行います。また、干拓地へのアクセス道路の整備に向けて、用地買収等を進めます。